TOSHIBA
Leading Innovation >>>

E6581956

多機能･小形インバータ
TOSVERT™ VF-S15

インバータを更新いただくお客様へ
TOSVERT™ VF-S11 ➡ TOSVERT™ VF-S15

このパンフレットでは、標準的なご使用方法の VF-S11 を、後継機種の VF-S15 へ更新いただく際の配線および設定に関する情報を掲載しております。
詳細な資料につきましては、東芝シュネデール･インバータ(株)ホームページ(http://www.inverter.co.jp/)の会員サービス(登録無料:登録まで2営業日かかります)に、製品添付の取扱説明書および置換えマニュアルを準備しておりますので、ご確認ください。

VF-S11 から VF-S15 への置換えについて

VF−S11 から VF−S15 へ更新を行う場合、以下の手順で据付け･配線･パラメータ設定を行ってください。

■ 1. VF−S11 の使用方法のご確認
■ 2. VF−S15 の据付け
■ 3. 電源･モータの配線
■ 4. 制御信号の配線
■ 5. パラメータ設定

【推奨】
VF-S11 に電源投入ができ、設定内容の読出しが可能であれば、パラメータ設定内容の読出し･記録を行ってください。

(VF-S11)　(VF-S15)

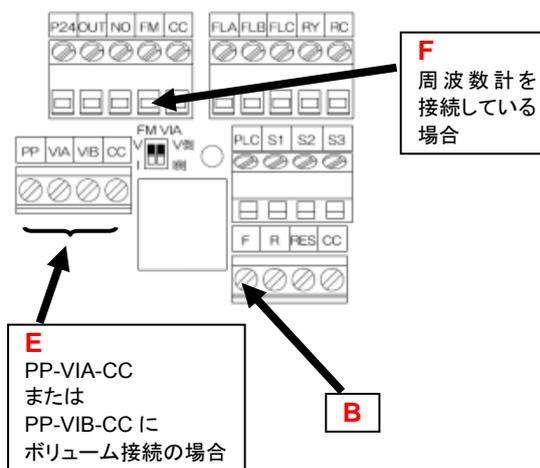
1. TOSVERT VF-S11 の使用方法のご確認

TOSVERT VF-S11 の使用方法をご確認ください。

■ 運転停止方法の確認
A. 操作パネルの **RUN**, **STOP** キーで運転･停止
B. **外部信号**により運転･停止

■ 周波数設定方法の確認
C. **内蔵ボリューム**により周波数設定
D. △▽キーにより周波数設定
E. **外部ボリューム**により周波数設定

注:
各記号(**A**~**F**)は、5項のパラメータ設定時の記号です。

■ 制御回路端子台への配線の確認
以下は、VF-S11 の制御回路端子台です。
配線されている端子をチェックしてください。

【ご注意ください】
定格銘板(インバータ右側面に貼付)のインバータ形式末尾に「Y-A□□」(□:数字)と記載のあるインバータは、特殊仕様品です。インバータが取り付けられている機械の製造メーカまたは機械の購入元(販売店)に、インバータ更新のご依頼をお願いします。
形式例:VFS11-2037PMY-A99

2. 据付け 3. 電源・モータの配線 4. 制御信号の配線

インバータを据付け後、電源・モータの配線を行ってください。※必ず、電源が遮断されていることを確認してください。

■電源・モータ配線

	VF-S11		VF-S15
電源	R/L1	⇒	R/L1
	S/L2	⇒	S/L2
	T/L3	⇒	T/L3
モータ	U/T1	⇒	U/T1
	V/T2	⇒	V/T2
	W/T3	⇒	W/T3

■制御信号の配線

VF-S11 に配線されている信号線を、VF-S15 に接続します。以下については、端子名称が異なります。

VF-S11		VF-S15	備考
VIA	⇒	VIA	0-10V 入力の場合
		VIC	4-20mA 入力の場合 E 項を参照ください。

5. パラメータ設定

A. 操作パネルの RUN, STOP キーで運転・停止

パラメータ設定は不要です。

B. 外部信号により運転停止

以下手順でパラメータ設定を行ってください。

キー操作	表示	備考
	0.0	電源投入
MODE	AUH	
	CMOd	時計回りに6つ目です
	1	
	0	
	CMOd	CMOd⇔0 の交互表示後、自動的に CMOd 表示になります
MODE 2回	0.0	設定完了です

C. 内蔵ボリュームにより周波数設定

パラメータの設定は不要です。
ボリュームの代わりに設定ダイヤルで周波数設定します。

D. △▽キーにより周波数設定

以下手順で周波数の設定を行ってください。
E を参考に FMOd に 3 を設定し、下記を設定してください。

キー操作	表示	備考
	0.0	電源投入
	60.0	運転周波数を設定します。 例: 60Hz の周波数設定 (60.0 になるまで、設定ダイヤルを回してください。)
	0.0	FC⇔60.0 の交互表示後、自動的に 0.0 表示になります

E. 外部ボリュームにより周波数設定

ボリュームを PP-VIA-CC 端子に接続後、以下手順でパラメータ設定を行ってください。

キー操作	表示	備考
	0.0	電源投入
MODE	AUH	
	FMOd	時計回りに7つ目です
	0	
	1	VIC-CC へ 4-20mA 入力する場合、8に設定してください。
	FMOd	FMOd⇔1 の交互表示後、自動的に FMOd 表示になります
MODE 2回	0.0	設定完了です

F. 周波数計を接続している場合

周波数計を FM-CC 端子に接続後、以下手順で周波数計の校正を行ってください。

キー操作	表示	備考
	0.0	電源投入
	60.0	例:60Hz で運転
MODE	AUH	
	FM	時計回りに9つ目です
	60.0	現在の運転周波数が表示されます
または	60.0	設定ダイヤルによりメータを調整します。 この時メータの指示は変わりますが、インバータのデジタルLED(モニタ)表示は変わりませんので、ご注意ください。
	FM	FM⇔60.0 の交互表示後、自動的に FM 表示になります
MODE 2回	0.0	校正完了です

[サービス窓口] 東芝産業機器システム株式会社 サービス統括部 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 4-9-11 (第 9 中央ビル)
東京 03-5644-5518 北海道 011-214-2567 仙台 022-292-2422 名古屋 052-551-1837 大阪 06-6130-2291 広島 082-263-0361 福岡 092-735-3522
[製造]東芝シュネデール・インバータ株式会社

6. 変更したパラメータの検索手順について

VF-S11 に電源を投入し、以下の操作を行うことにより、VF-S11 の設定内容を確認できます。

キー操作	表示	備考
	0.0	電源投入
MODE	AUH	
▼	GrU	
ENT	U---	
ENT	CNOd	変更したパラメータのタイトルが表示されます
ENT	0	変更したパラメータの設定値が表示されます
ENT	U---	

（続き）	表示	備考
ENT	FNOd	変更したパラメータのタイトルが表示されます
ENT	3	変更したパラメータの設定値が表示されます
ENT	U---	
ENT	GrU	GrU 表示に戻れば、検索が終了です。
MODE	Fr-F	
MODE	0.0	

7. パラメータ設定表

タイトル	設定値
8.8.8.8.	8.8.8.8.
8.8.8.8.	8.8.8.8.
8.8.8.8.	8.8.8.8.
8.8.8.8.	8.8.8.8.
8.8.8.8.	8.8.8.8.
8.8.8.8.	8.8.8.8.
8.8.8.8.	8.8.8.8.
8.8.8.8.	8.8.8.8.
8.8.8.8.	8.8.8.8.
8.8.8.8.	8.8.8.8.
8.8.8.8.	8.8.8.8.
8.8.8.8.	8.8.8.8.
8.8.8.8.	8.8.8.8.
8.8.8.8.	8.8.8.8.
8.8.8.8.	8.8.8.8.
8.8.8.8.	8.8.8.8.

タイトル	設定値
8.8.8.8.	8.8.8.8.
8.8.8.8.	8.8.8.8.
8.8.8.8.	8.8.8.8.
8.8.8.8.	8.8.8.8.
8.8.8.8.	8.8.8.8.
8.8.8.8.	8.8.8.8.
8.8.8.8.	8.8.8.8.
8.8.8.8.	8.8.8.8.
8.8.8.8.	8.8.8.8.
8.8.8.8.	8.8.8.8.
8.8.8.8.	8.8.8.8.
8.8.8.8.	8.8.8.8.
8.8.8.8.	8.8.8.8.
8.8.8.8.	8.8.8.8.
8.8.8.8.	8.8.8.8.
8.8.8.8.	8.8.8.8.